

## 令和2年度芦東山記念館運営委員会 会議録

- 1 会議名 令和2年度芦東山記念館運営委員会
- 2 開催日時 令和3年3月9日（火）午後1時30分から午後3時35分まで
- 3 開催場所 芦東山記念館ホール
- 4 出席者
  - (1) 委員 永澤國雄委員（委員長）、及川雅晴委員、片岡龍委員、菊池和房委員、佐伯信乃婦委員、千葉耕士委員、藤原良治委員
  - (2) 事務局 吉田正志芦東山記念館長、菅原正幸芦東山記念館次長、菅原暢主任主査、小味浩之学芸員、中村貴志主事、張基善専門学芸調査員、千葉真由美業務推進員、千葉浩子業務推進員
- 5 議題
  - (1) 令和2年度芦東山記念館事業経過報告
    - ア 令和2年度自主事業実績報告等
    - イ 令和2年度調査研究事業実績報告
  - (2) 令和3年度芦東山記念館事業計画（案）
    - ア 令和3年度芦東山記念館事業計画（案）
    - イ 令和3年度芦東山記念館調査研究事業計画（案）
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 挨拶
  - (1) 委員長  
今後の記念館の発展のため、様々な角度から意見をいただきたい。
  - (2) 館長  
本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大変な一年となり、記念館の諸行事も一部変更などを余儀なくされました。感染対策を行いながら可能な範囲で実施してきましたが、その中でも反省すべき点はありますので、本年度の事業報告、来年度の事業計画案を含め、委員の皆さんからは忌憚のない意見をいただきたいと思えます。
- 9 審議内容
  - (1) 令和2年度芦東山記念館事業経過報告
    - ア 令和2年度自主事業実績報告等  
事務局が、資料に基づき説明した。以下、質疑応答。

委員 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業などはあるのか。

事務局 感染症対策により、4月19日から5月10日までを臨時休館したことに伴い、春季特別展は中止とした。また、館長講座において例年移動研修を行っているが、団体で、かつ移動を伴うものであるため、感染症予防の観点から中止とした。

委員 館外活動については非常に有益なものであることから、記念館職員によるものだけでなく、民間の活用も検討してはどうか。例えば、芦東山先生顕彰会は協力要請があれば対応可能である。また、環境整備などに係る地域からの協力について、委員からも働きかけていきたい。

事務局 必要に応じて検討していく。地域への働きかけについては行っていただければありがたい。

委員 団体での入館含め入館者の推移をみると、やはりコロナ禍の影響もあってか昨年度よりは減少している。これは学校などによる行事、研修が中止となっていることも関係していると思う。逆に考えれば、行事、研修を行う際のルートに芦東山記念館も組み込んでもらえれば、非常に有効であると思う。コロナ禍により厳しい状況を経験したが、この経験を逆手にとり、学校などに対し教育の一環として芦東山記念館を選んでもらえるよう積極的にPR活動を行ってみてはどうか。

委員 毎年度団体で来館してくれるような固定客ができれば、芦東山の周知を含め、集客が見込めると思う。

委員 団体客が来館した際、案内係はつくのか。また、イベントなどのパンフレットは準備しているのか。

事務局 案内などは学芸員を始め、記念館職員で対応している。また、各種イベント周知のためのパンフレット等も準備し、対応している。

委員 9月に龍谷大学が来ているようだが、どのような経緯で来館に至ったのか。

事務局 大学職員が資料調査のため来館したものである。

委員 ホームページは、やはりアピールという点で非常に重要なツールである。常設のものと同近のものだけでなく、過去の実績や関連するものなど、ウェブ上で様々な入口から芦東山記念館にたどり着けるような工夫が必要である。コロナの影響もあり大学の授業もオンライン化がかなり進んでいる昨今において、ウェブ上でのPRは大事である。可能なのであれば動画、例えばYouTubeなどのツールを活用したものについても検討してはどうか。

イ 令和2年度芦東山記念館調査研究事業実績報告について

事務局が、資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答。

委員 梁山泊（古本屋）にある資料というのはどのようなものがあるのか。

事務局 中国の経書や古典関係が多い。

委員 相手方は古本屋であるため、資料が散失してしまう可能性もあるのではない  
か。

事務局 やはり相手方は商売としてやっているため、資料が散失する可能性はあるが、  
価格も安価ではなく数冊で数十万円するものもあり、予算の都合もある。また、  
当該資料が本当に必要なものなのかどうか十分に調査する必要もあり、購入す  
るにしても慎重に対応しなければならない。

委員 早稲田大学総合研究機構への委託研究事業について、本年度はコロナの影響  
もあり計画通りにはいかなかったと思うが、今後の計画等に問題はないのか。

事務局 コロナの影響により連絡会議や講演会が開催できず、計画通りとはいかなか  
ったが、主たる研究者である稲畑氏からは、外出できない分、自宅で芦東山の  
漢詩の研究等は有効に行えていると聞いている。先の見通しが立てにくい状況  
が続いているため、引き続き相談しながら実施していきたい。

(2) 令和3年度芦東山記念館事業計画（案）について

ア 令和3年度芦東山記念館事業計画（案）について

事務局が、資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答。

委員 特定の先人を対象とした記念館は大変貴重であり、引き続きたくさんの人に  
知ってもらえるようなPR活動をお願いしたい。

イ 令和3年度芦東山記念館調査研究事業計画（案）について

事務局が、資料に基づき説明を行った。質疑なし。

10 その他

委員 本日、会議が始まる前に記念館の周りを歩いていろいろ見てみた。すぐ近くに  
掬水の丘があり、解説板もあったが、そもそも入りにくい。芦家住宅を含め、せ  
っかく一帯として価値があるにもかかわらず、それを活かせていないと感じた。  
芦東山記念館、芦家住宅、掬水の丘について、全体を通して見ることができるよ  
うな、ストーリー性を持たせた整備ができれば、記念館一帯がもっと魅力的なも  
のになると思う。

11 担当課 芦東山記念館（大東支所地域振興課）